



4年ぶり! 制限なしの小中合同運動会

5月20日に日奈久小との合同運動会を開催しました。コロナ感染症防止対策が緩められたため観覧者の制限をなくし、4年ぶりにご来賓や地域の方にも子供たちの躍動する姿を見てもらうことができました。前日まで降っていた雨も当日は晴天に変わり、子供たちはこれまでの練習してきた成果を十分に発揮してくれました。小学校低学年のいきいきとしたダンスや競技に臨む一生懸命な姿、高学年の集団のまとまりや機敏な姿など、見ている人たちに笑顔と感動を与えてくれました。また、中学生にとっては、「運動会を成功させよう」という思いが感じられ心に残る運動会となりました。一人一人が自分の団の優勝を目指し、全ての競技に持てる力を一杯発揮していました。特に、生徒全員による応援演舞は、集団演技の迫力と美しさが感じられ見応えがありました。プログラム最後の日奈久音頭は、子供たちだけでなく保護者や地域の方々にも参加していただき、日奈久地域がひとつになった気がしました。運動会の開催に向け、ご尽力いただきましたご来賓、保護者、小中PTA役員及び婦人会の皆様方に心から感謝申し上げます。



楽しかった おいしかった いちご狩り

5月9日に全校生徒でいちご狩りに行きました。ご協力いただいたのは本校PTA会長の山下辰巳さんと亜矢子さんご夫婦。毎年お世話になっていて、生徒たちはこの日を楽しみにしていました。ハウスに入ると甘い匂いが漂ってきて、生徒たちは早速、教えられたやり方で赤く熟したいちごを摘み取り、持ってきたタッパに入れたり、幸せそうに頬張っていました。最後に山下さんから、「いちごにしても何にしても、ものには、生産者やそれを運ぶ人、売る人の思いがあって、消費者に届きます。そのことを忘れず、感謝の気持ちを持ってほしい。」と話されました。貴重な体験とおいしいいちごをたくさんいただき、ありがとうございました。



地域イベント「母の日マルシェ」に協力

5月14日は「日奈久温泉母の日マルシェ」の日でした。前日には生徒会執行部の呼びかけで集まった生徒たちが、温泉に入れるカーネーションの花の摘み取り作業を手伝いました。作業を行ったのはPTA副会長の丸尾憲遵さんの農園。ハウス内で生徒たちは、赤、ピンク、黄の花を丁寧に摘み取っていききました。翌日には、夢倉庫駐車場の特設の販売店でカーネーション販売や来客対応など「母の日マルシェ」のイベントを手伝いました。この時の様子は、夕方NHKニュースでも紹介されました。



国版コミュニティ・スクール発足へ

日奈久小、日奈久中合同の国版コミュニティ・スクール(CS)を立ち上げました。5月30日に学校運営協議会である「日奈久学校地域づくり協議会」の第1回会議を開催し、住民自治協議会今田徳次郎会長など八代市教育委員会から委嘱を受けた委員20名が参加しました。CSは、学校・子供たちと地域とをつなぐ組織で、法律に基づいた組織です。この日は、CSについての説明を行った後、各校長が掲げた、たすきた各校学校運営方針を承認。子供たちの地域行事への参加について協議しました。

